

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-54006(P2013-54006A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-194190(P2011-194190)

【国際特許分類】

G 0 1 W 1/10 (2006.01)

G 0 1 W 1/08 (2006.01)

【F I】

G 0 1 W 1/10 M

G 0 1 W 1/08 E

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月3日(2014.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気象変動を予測するための気象変動予測情報提供システムであって、  
複数の気圧センサーの出力に基づいて、複数の地点の気圧データを取得するデータ取得部と、

前記気圧データから前記複数の地点の間の気圧傾度を計算し、気象変動予測情報として  
前記気圧傾度の変化の情報を生成する気象変動予測情報生成部と、を含む、気象変動予測  
情報提供システム。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
前記気象変動予測情報生成部は、  
前記気圧データに基づいて、前記気象変動予測情報として気圧変化の情報を生成する、  
気象変動予測情報提供システム。

【請求項 3】

請求項 2 において、  
前記気象変動予測情報生成部は、  
前記気圧変化の情報として、気圧に応じて表示が異なる画像情報を生成する、気象変動  
予測情報提供システム。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、  
前記気象変動予測情報に基づいて、前記気象変動の発生を予測した場合には警報情報を  
生成する気象変動予測部をさらに含む、気象変動予測情報提供システム。

【請求項 5】

請求項 4 において、  
前記気象変動予測部は、  
前記気象変動予測情報と、気象予測を行う場所の地理情報と、を用いて前記気象変動の  
予測を行う、気象変動予測情報提供システム。

【請求項 6】

請求項 4 又は 5 において、  
前記気象変動予測部は、  
前記気象変動予測情報と、気象予測を行う場所の気象条件の統計情報と、を用いて前記  
気象変動の予測を行う、気象変動予測情報提供システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項において、  
前記複数の気圧センサーは山岳地帯に配置される、気象変動予測情報提供システム。

【請求項 8】

請求項 7 において、  
前記複数の気圧センサーの少なくとも一つは、山小屋に設置される、気象変動予測情報  
提供システム。

【請求項 9】

請求項 7 又は 8 において、  
前記複数の気圧センサーの少なくとも一つは、人に携帯される、気象変動予測情報提供  
システム。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項において、  
前記気圧センサーは、気圧に応じて共振周波数を変化させる感圧素子を有し、当該感圧  
素子の振動周波数に応じた気圧データを出力する、気象変動予測情報提供システム。

【請求項 11】

気象変動を予測するための気象変動予測情報提供方法であって、  
複数の気圧センサーからの出力に基づいて、複数の地点の気圧データを取得するデータ  
取得ステップと、  
前記気圧データから前記複数の地点の間の気圧傾度を計算し、気象変動予測情報として  
前記気圧傾度の変化の情報を生成する気象変動予測情報生成ステップと、を含む気象変動  
予測情報提供方法。

【請求項 12】

気象変動を予測するための気象変動予測情報提供プログラムであって、  
複数の気圧センサーから出力される気圧データに基づき、複数の地点の間の気圧傾度を  
計算し、気象変動予測情報として前記気圧傾度の変化の情報を生成する手順を、コンピュ  
ーターに実行させる、気象変動予測情報提供プログラム。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の気象変動予測情報提供プログラムを記録した、コンピューター読み  
取り可能な記録媒体。